

原料費調整制度に基づく2024年6月検針分ガス料金について

当社は、原料費調整制度に基づき2024年6月検針分の原料費調整単価を **82.1円/m³ (税込)** とさせていただきます。
これにより、平均的なガス使用量 (10 m³/月) では2024年5月検針分のガス料金に比べて **491円 (税込) の値上げ** となります。

●原料費調整内容 (基準料金表) 2024年6月改定 ※下記料金は税込表記です

基本料金	従量料金		原料費調整単価
1,980円(一般) 2,310円(賃貸)	0 m ³ から5 m ³ まで	594円/m ³	82.1円/m ³
	5 m ³ をこえて20 m ³ まで	539円/m ³	
	20 m ³ をこえて30 m ³ まで	517円/m ³	
	30 m ³ をこえて40 m ³ まで	473円/m ³	
	40 m ³ をこえる場合	429円/m ³	

●平均的なガス使用量 (下記例は一般料金で計算しています)

月間ガス使用量	2024年5月ガス料金<A>	2024年6月ガス料金	前月比
10.0 m ³	7,975円	8,466円	+491円

※従量単価に加減される原料費調整単価及び料金計算途中で算出される小数点以下の四捨五入等やインボイス計算により実際の金額とは異なる場合がございますので、予めご了承ください。

●原料価格など指標の推移 【5月からパナマ運河通峡料を改定します。18.5ドル→21.5ドル】

	2月	3月	4月
中東LPG指標:CP(ドル/トン)	630	630	615
北米LPG指標:MB(ドル/トン)	472	416	
為替レート:TTS(円/ドル)	150.50	150.67	
フレート(船賃):RIM(ドル/トン)	60.9	64.5	

●計算方法

基準原料価格 66,000円/トン
FOB価格 中東合成 CP $622.5 \text{ ドル} \times 70\% + \text{北米 MB}583 \text{ ドル} \times 30\% = 580.65 \text{ ドル}$
中東合成 CP (3月 CP630 ドル+4月 CP615 ドル) $\div 2 = 622.5 \text{ ドル}$
北米 MB3月 MB416 ドル+67 ドル (ターミナルフィー) = 483 ドル
フレート価格 (中東フレート $64.5 \text{ ドル} \times 70\%$) + (北米フレート $121.70 \text{ ドル} \times 30\%$) + 2 ドル = 83.7 ドル
中東フレート (RIMフレート) 64.5 ドル
北米フレート (RIMフレート) $64.5 \times 1.6 \text{ 倍} + 18.5 \text{ ドル}$ (パナマ運河通峡料) = 121.70 ドル
円換算 3月1日～末日 TTS 平均 150.67円/ドル
LPG輸入価格 (FOB価格 580.65+フレート価格 83.7) $\times 150.67 \text{ 円} = 100,097.614 \dots \rightarrow 100,100 \text{ 円/トン}$
当月原料価格 101,100円/トン + 石油石炭税 1,860円/トン = 101,960円/トン
原料費調整単価 (当月原料価格 101,960円 - 基準原料価格 66,000円) $\div 1,000 \div 0.482 \div 74.6$

2024年6月ガス料金の原料費調整単価は1 m³あたり 82.1円 (税込) です。